

【(主)吉田豊栄線[東広島高田道路](事業主体:広島県)】

- 高規格幹線道路
- 主要国道
- 東広島高田道路(計画路線)
- 東広島高田道路(整備区間)
- 東広島高田道路(調査区間)
- 企業(東広島高田道路沿線)



広域交通ネットワークとの接続による企業活動の活性化

平成21年度の起点側約1km区間の供用開始により、東広島高田道路は山陽自動車道とつながり、広島県の井桁状の高速道路ネットワークに新たに加わりました。これにより、周辺企業にとって、**主要取引先のある広島方面へのアクセスが格段に向上するとともに、関東方面への出荷も活性化**するなど、大きな経済効果をもたらしています。

【工場群(3社)の声】

- 「山陽自動車にすぐアクセスできるようになり、関東方面への出荷が便利になった。物流でのメリットはかなり大きい」「マツダとの調整会議も頻繁にあるが、時間短縮と定時性が確保された」(H27.6 コンベンシユミット(株))
- 「遠方からの納品、商談ともに、ICが使えるようになり、格段に便利になった」(H27.6 株式会社片倉の鋼管)
- 「山陽自動車道とつながったことで、親会社や提携先との連携がスムーズになった。これからも、一層、東広島の工場を充実させたい」(H27.6 マイクロテクノ(株))

東広島高田道路は、中国縦貫自動車道と山陽自動車道に直結するとともに、県中央部から広島空港や山陽新幹線 東広島駅へのアクセスの向上が飛躍的に図られ、国内外との広域交通ネットワークを形成する路線となります。
 延長約40kmのうち、供用区間1kmでも雇用の増加といった目に見える効果が出ています。この路線が整備されることによって県中央部を中心に工場立地や住宅開発などの地域開発、それに伴う雇用の増加、人口の定着・増大といった効果がより一層期待できます。

